

中小企業における事業承継の実態と 承継後のパフォーマンスに影響を与える要因について

氏名 福田 大地

指導教員 日下 勇歩

中小企業における事業承継の問題が重要視されている。日本経済新聞（2023年11月29日、朝刊5面）の記事では、中小企業の127万が後継者不足の問題に陥っていると説明されている。この後継者不足の問題により、中小企業は、「大廃業時代」（日経産業新聞、2023年6月27日、2面）に直面すると言われている。本研究の目的は、中小企業の事業承継が適切に行われるための要因を明らかにすることである。本研究では、中小企業の経営者に対して事業承継に関するアンケートを実施し、中小企業の事業承継に対する実態調査、並びに承継後のパフォーマンスに影響を与える要因を調査する。これらの実態調査及び分析を通じて、中小企業の事業承継における課題を考察する。中小企業における事業承継がより適切に行われるための示唆を得ることを狙いとしている。アンケート調査にあたり、以下の3つの仮説を立てた。1つめに、「高教育を受けている場合、高教育を受けていない場合に比べて、承継後のパフォーマンスが向上する」という仮説である。2つめに、「先代経営者との関係性が良い場合、悪い場合に比べて、承継後のパフォーマンスが向上する」という仮説である。3つめに、「経営者に一皮むけた経験がある場合、そうでない場合に比べて、承継後のパフォーマンスが向上する」という仮説である。分析の結果、とくに、仮説3が支持されるという結果が得られた。

（参考文献）

日経産業新聞（2023年6月27日）2面「高まる「後継不足倒産」急増リスク 社長平均60.4歳、高齢化進む 阿部成伸氏（企業信用調査マンの目）」

日本経済新聞（2023年11月29日）朝刊5面「中小127万社、後継者未定 政府、承継へM&A支援 民間ファンドに120億円」